

沖縄地方の天候

2019年5月と春（3月～5月）

令和元年6月3日 沖縄気象台

【 5月 】

天候経過（月のまとめ）	1
天候経過（旬別）	2
大気の流れ	3
日々の天気図（午前9時）・気象概況	4
地上気象 気象経過図	
那覇・名護・久米島・南大東（南大東島）	6
宮古島・石垣島・西表島・与那国島	7
アメダス（月平均気温・月降水量・月間日照時間）	
分布図	8
極値・順位値更新表（月）、生物季節観測表	9

【 春 】

春の天候	10
春の大気の流れ	11
沖縄地方の春（3月～5月）	
の平均気温と降水量の経年変化	12

※本報告は6月3日時点の資料で作成したものです

本件担当：沖縄気象台 地球環境・海洋課
お問い合わせ先：098-918-4012

天 候 経 過 (月のまとめ)

【5月】

前線や気圧の谷などの影響で曇りや雨の日が多かったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。

平均気温の地域平均平年差は+0.1℃と平年並だった。降水量の地域平均平年比は122%と平年並だったが、与那国島で661.5mm、所野で684.0mmを観測し、それぞれ月降水量の多い方からの5月としての極値を更新した。日照時間の地域平均平年比は95%で平年並だった。

なお、沖縄地方は5月16日ごろに梅雨入りしたと見られる(※)。平年より7日遅く、昨年より16日早い梅雨入りとなった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	24.2	+0.2	0	208.5	90	0	150.7	103	0
名 護	23.8	+0.3	0	187.5	84	0	176.9	127	+
久米島	24.3	+0.3	0	178.5	67	-	164.8	116	+
南大東島	23.9	0.0	0	136.0	68	-	180.7	101	0
宮古島	25.0	+0.2	0	137.5	66	0	141.3	94	0
石垣島	25.8	+0.1	0	137.0	66	-	140.7	87	0
西表島	25.1	-0.1	0	190.5	105	+	132.3	78	-
与那国島	25.1	-0.2	0	661.5	319	++	103.2	74	-
沖縄地方		+0.1	0		122	0		95	0

- (注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。
 ++: かなり高い(かなり多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、
 -: 低い(少ない)、--: かなり低い(かなり少ない)
2. 「降水量」欄の — は無降水を示す。
3. 沖縄地方の地域平均平年差(比)とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点の平年差(比)の平均値を示す。
4. “)”付きの値は準正常値(欠測を含むが許容する資料数を満たす)を意味する。
5. “)”付きの値は資料不足値(欠測を含み許容する資料数を満たさない)を意味する。
6. “X”は欠測を意味する。
7. 表中のデータは気象官署及び特別地域気象観測所における値である。
8. 平年値の統計期間は1981～2010年である。

(※)速報値。気象予測をもとに行う梅雨入りの速報とは別に、梅雨の季節が過ぎてから、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行う。そこで検討した梅雨入りの確定値は、9月以降に気象庁ホームページや「2019年の沖縄地方の天候」(2020年1月発表)等において公表する。

天 候 経 過 (旬別)

【5月上旬】

沖縄地方は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、1日は沖縄本島地方で大雨となった所があった。

沖縄地方の平均気温は低く、3日は慶良間で日最低気温16.0℃を観測するなど、複数の地点で日最低気温の低い方からの5月としての極値を更新した。沖縄地方の降水量は平年並で、日照時間は少なかった。

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	23.0	-0.5	0	89.5	141	+	32.4	70	-
名 護	22.4	-0.5	-	76.5	129	+	41.6	92	0
久米島	23.0	-0.4	-	52.5	92	0	34.9	75	0
南大東島	23.1	-0.3	0	40.0	101	0	50.5	80	-
宮古島	23.7	-0.5	-	41.0	65	0	34.6	72	-
石垣島	24.3	-0.9	-	30.5	67	0	26.7	52	--
西表島	23.6	-1.1	-	43.5	85	0	23.1	42	--
与那国島	23.5	-1.2	-	47.5	95	0	16.3	37	--
沖縄地方		-0.7	-		92	0		61	-

【5月中旬】

沖縄地方は梅雨前線や気圧の谷などの影響で曇りや雨の日が多く、13日は八重山地方で、20日は沖縄本島地方で大雨となった所があった。13日は、与那国島では日最大1時間降水量98.5mm、日降水量437.5mm、所野では日最大1時間降水量109.5mm、日降水量441.5mmを観測し、いずれも5月としての極値を更新した。

沖縄地方の平均気温は高く、降水量は多く、日照時間は少なかった。なお、沖縄地方は5月16日ごろに梅雨入りしたと見られ、平年より7日遅く、昨年より16日早い梅雨入りとなった。

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	25.2	+1.1	+	55.0	84	0	41.4	82	0
名 護	24.9	+1.3	+	34.0	55	0	52.1	108	0
久米島	25.0	+0.9	+	95.0	125	0	45.5	92	0
南大東島	24.5	+0.5	0	4.0	7	--	40.7	67	-
宮古島	26.3	+1.4	+	47.0	79	0	39.5	77	-
石垣島	27.4	+1.6	++	37.5	50	0	40.9	74	-
西表島	26.6	+1.3	+	63.0	112	0	39.0	66	-
与那国島	26.4	+1.0	+	511.0	605	++	32.6	69	-
沖縄地方		+1.2	+		189	+		79	-

【5月下旬】

沖縄地方は期間の前半は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、期間の後半は梅雨前線や湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった所があった。

沖縄地方の平均気温と降水量は平年並で、日照時間はかなり多かった。

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	24.4	-0.1	0	64.0	63	0	76.9	158	++
名 護	24.0	+0.1	0	77.0	76	0	83.2	181	++
久米島	24.8	+0.4	+	31.0	24	-	84.4	181	++
南大東島	24.0	-0.3	0	92.0	86	0	89.5	165	++
宮古島	25.0	-0.3	-	49.5	58	0	67.2	129	+
石垣島	25.9	-0.2	0	69.0	80	0	73.1	133	+
西表島	25.2	-0.5	-	84.0	113	+	70.2	124	+
与那国島	25.5	-0.2	0	103.0	141	+	54.3	111	+
沖縄地方		-0.1	0		73	0		142	++

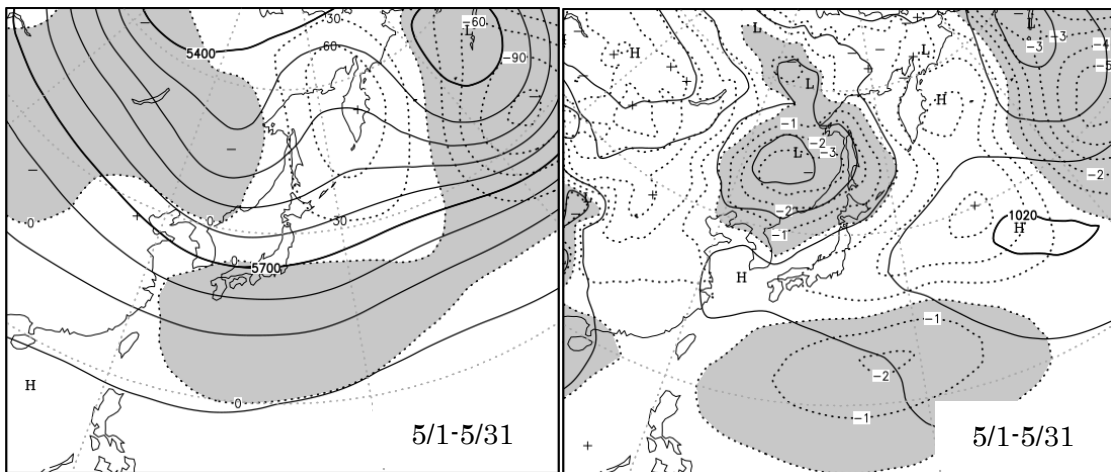
表の(注)は、前頁と同様

大気の流れ

2019年5月

500hPa面の平均高度（左図）は、本州の南は平年より低かった。

平均海面気圧（右図）は、本州付近は平年より高かった。一方、日本の南は前線が停滞したり、低気圧が通過することが多かったため、低圧部となった。沖縄地方の平均気温は平年並であったが、上旬は前線の北側の冷たい空気の影響で平年を下回る日が多く、中旬以降は暖かい空気が流れ込みやすかったため平年を上回る日が多かった。

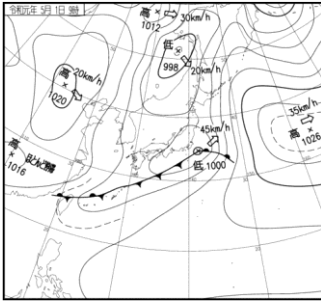


左図 日本付近の500hPa面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が60m、
平年差（破線）が30mである。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。

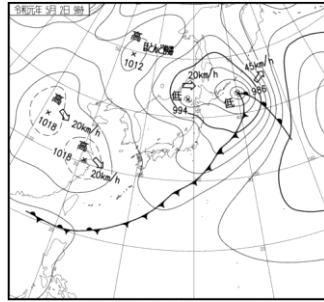
右図 日本付近の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、
平年差（破線）が1hPaである。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

日々の天気図（午前9時）・気象概況

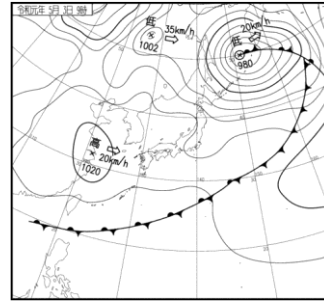
2019年5月1日～5月16日



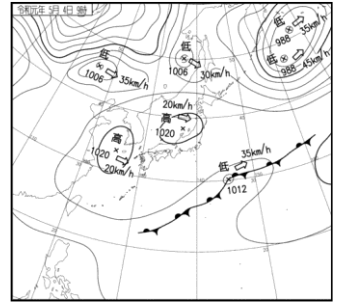
2019年5月1日
前線の影響を受ける。



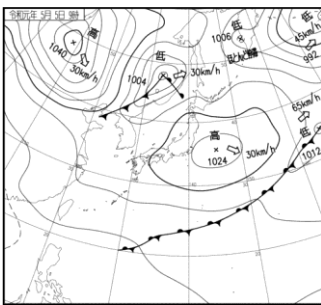
5月2日
沖縄本島地方と大東島地方は高気圧に覆われる。先島諸島は高気圧のへりにあたる。



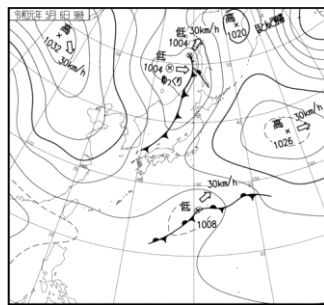
5月3日
気圧の谷の影響を受ける。



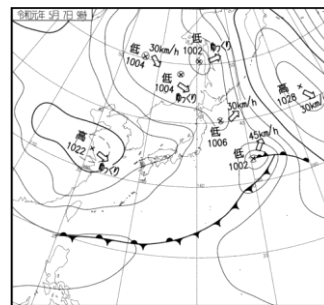
5月4日
高気圧に覆われる。



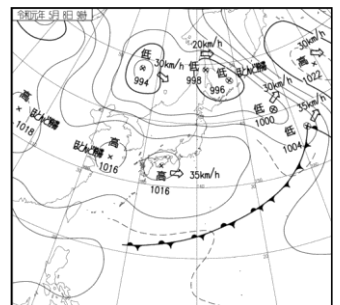
5月5日
高気圧に覆われる。



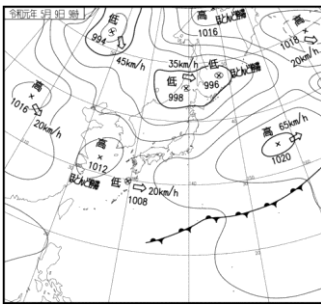
5月6日
気圧の谷の影響を受ける。



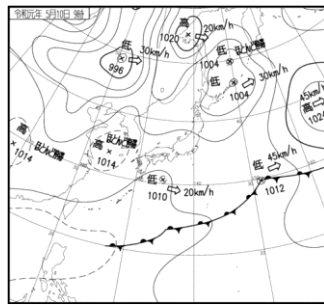
5月7日
気圧の谷の影響を受ける。



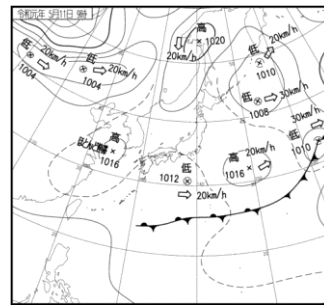
5月8日
沖縄本島地方と先島諸島は気圧の谷の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



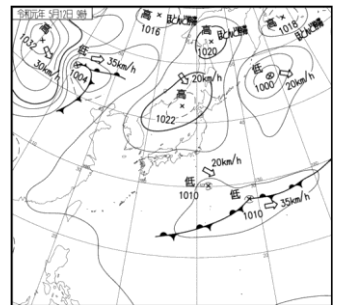
5月9日
沖縄本島地方と先島諸島は気圧の谷の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



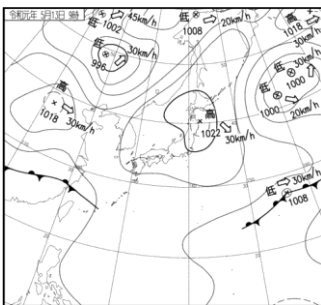
5月10日
気圧の谷の影響を受ける。



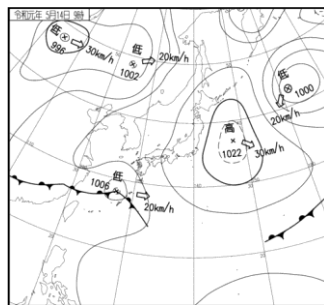
5月11日
気圧の谷の影響を受ける。



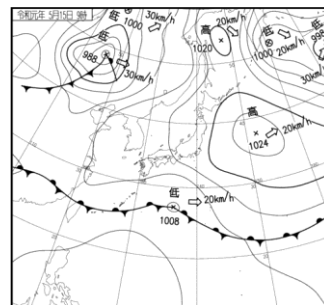
5月12日
沖縄本島地方は高気圧に覆われる。大東島地方と先島諸島は気圧の谷の影響を受ける。



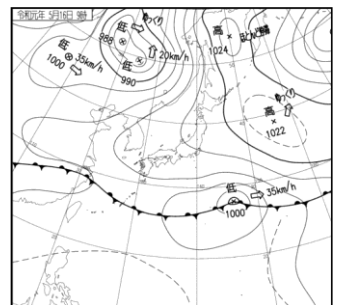
5月13日
沖縄本島地方と大東島地方は高気圧に覆われる。先島諸島は前線の影響を受ける。



5月14日
沖縄本島地方と大東島地方は低気圧や前線の影響を受ける。先島諸島は高気圧に覆われる。



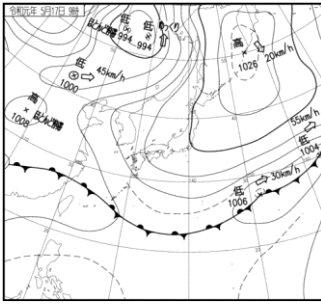
5月15日
沖縄本島地方と大東島地方は高気圧に覆われる。先島諸島は前線の影響を受ける。



5月16日
沖縄本島地方、大東島地方、宮古島地方は梅雨前線の影響を受ける。八重山地方は高気圧に覆われる。

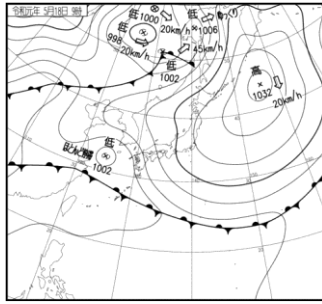
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2019年5月17日～5月31日



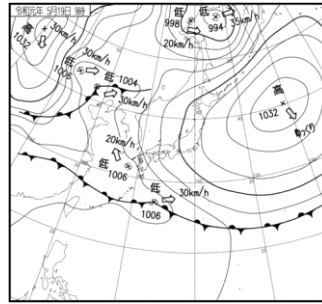
5月17日

沖縄本島地方と先島諸島は梅雨前線の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



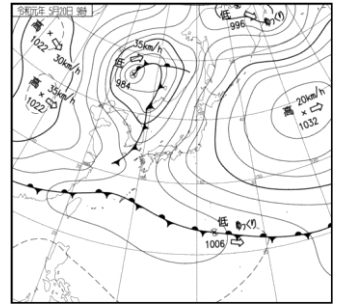
5月18日

梅雨前線の影響を受ける。



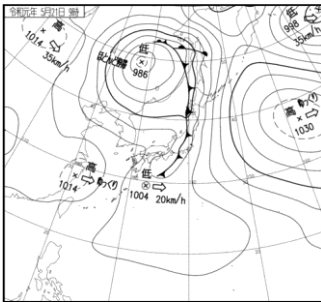
5月19日

沖縄本島地方は梅雨前線の活動が弱まる。大東島地方と先島諸島は梅雨前線の影響を受ける。



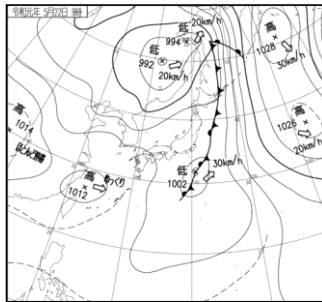
5月20日

沖縄本島地方と先島諸島は梅雨前線の影響を受ける。大東島地方は梅雨前線の活動が弱まる。



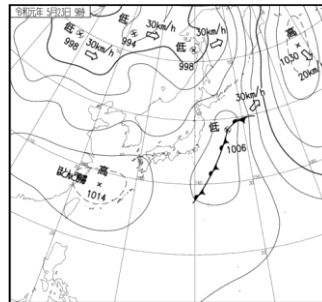
5月21日

高気圧に覆われる。



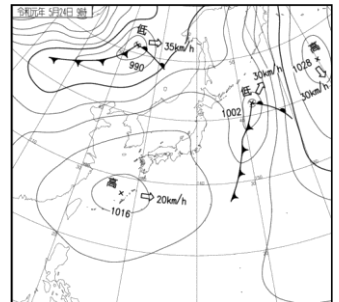
5月22日

高気圧に覆われる。



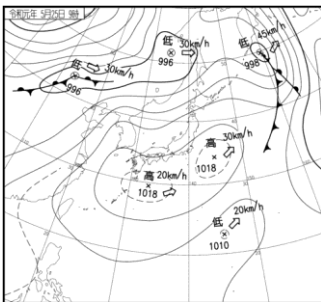
5月23日

沖縄本島地方と大東島地方は高気圧に覆われる。先島諸島は湿った空気の影響を受ける。



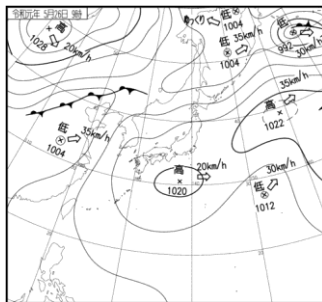
5月24日

高気圧に覆われる。



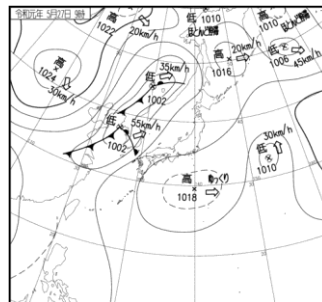
5月25日

高気圧に覆われる。



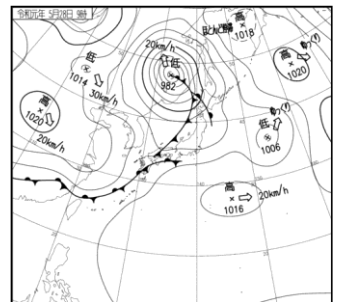
5月26日

高気圧に覆われる。



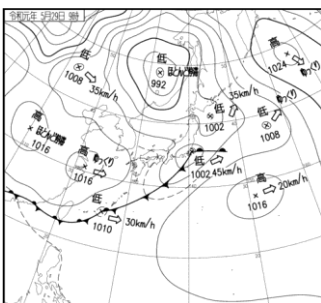
5月27日

沖縄本島地方と先島諸島は湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



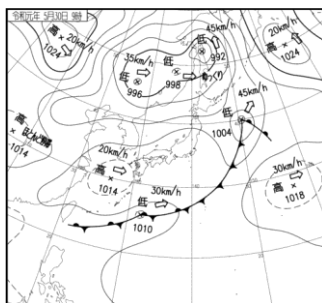
5月28日

梅雨前線や湿った空気の影響を受ける。



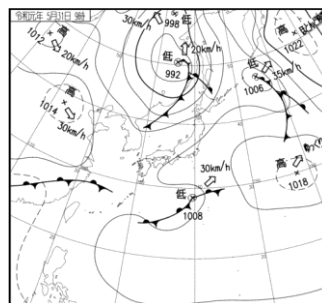
5月29日

低気圧や梅雨前線の影響を受ける。



5月30日

低気圧や梅雨前線の影響を受ける。

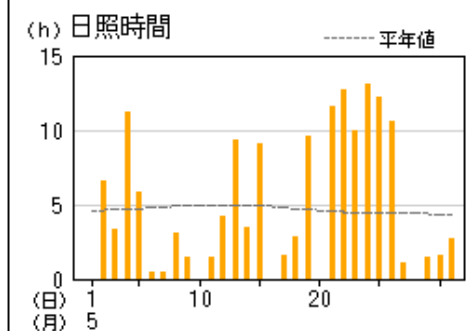
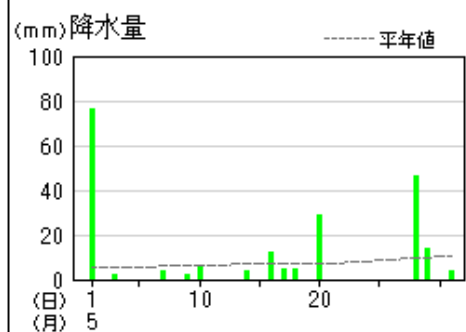
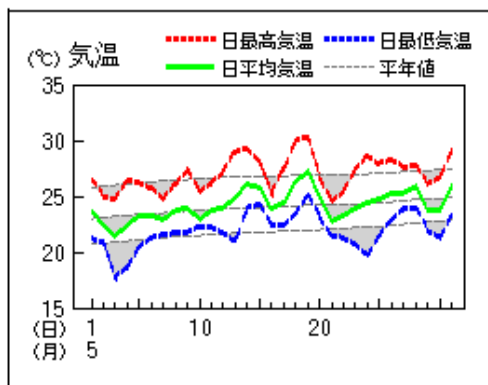


5月31日

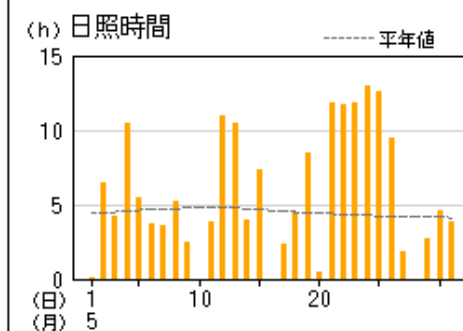
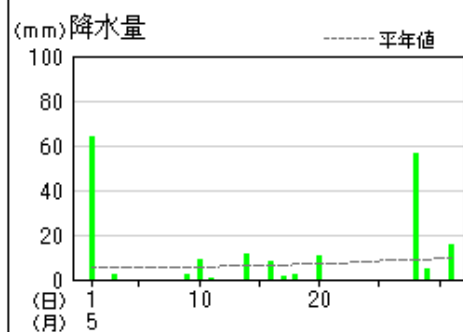
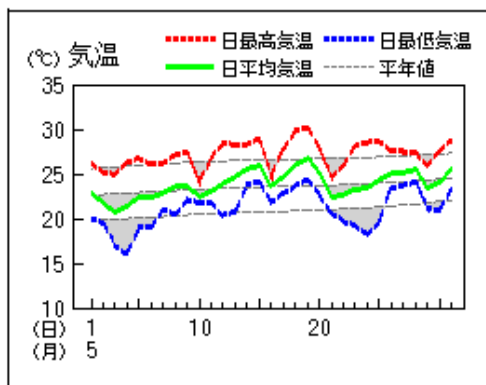
沖縄本島地方と先島諸島は梅雨前線の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。

地上気象 気象経過図：2019年05月01日-2019年05月31日

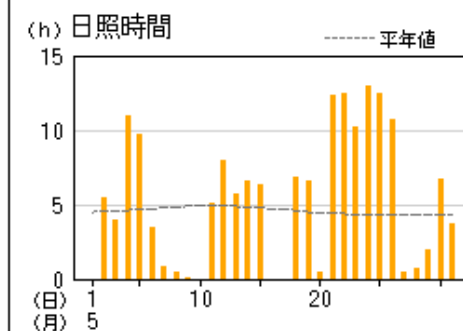
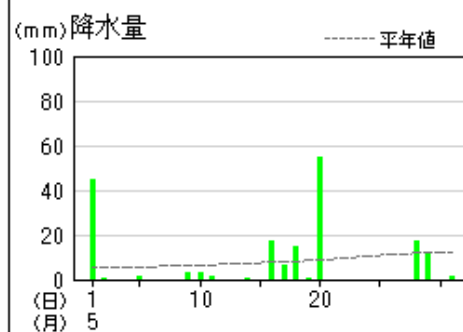
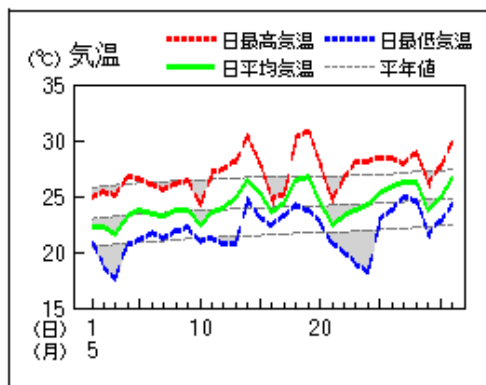
那覇



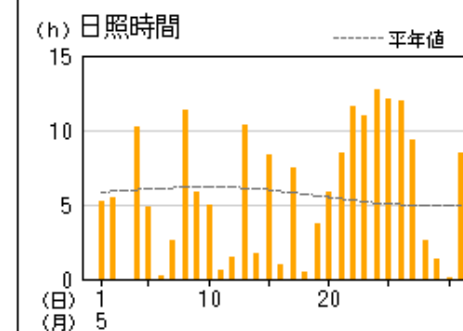
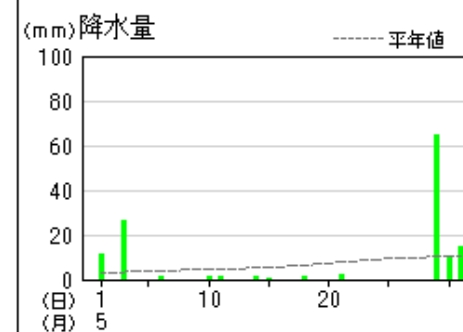
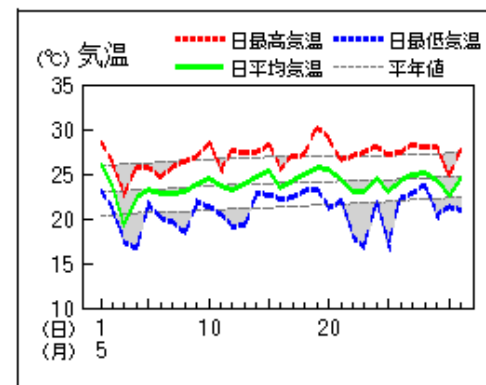
名護



久米島

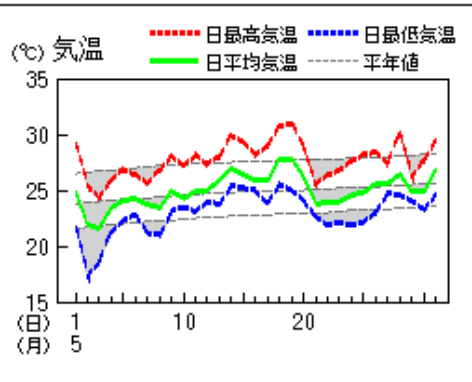


南大東(南大東島)

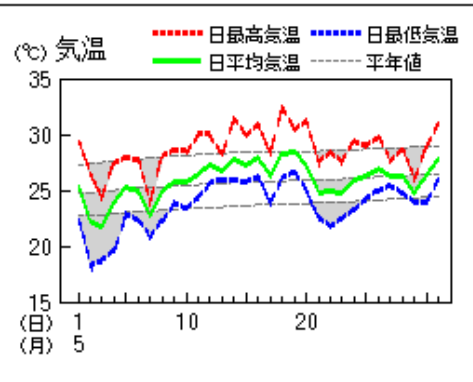


地上気象 気象経過図：2019年05月01日-2019年05月31日

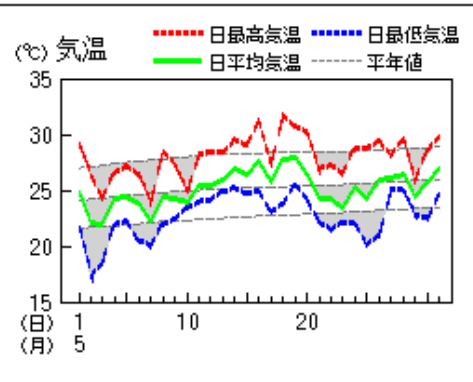
宮古島



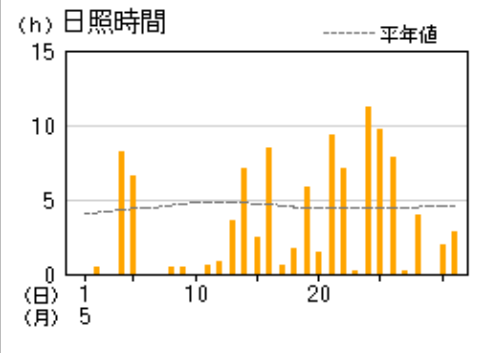
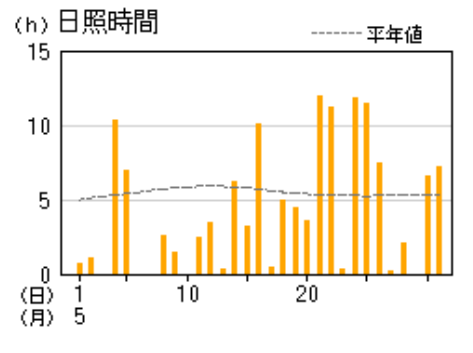
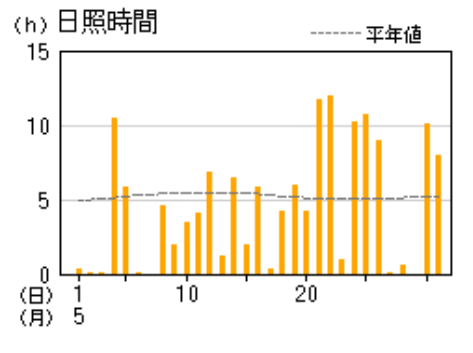
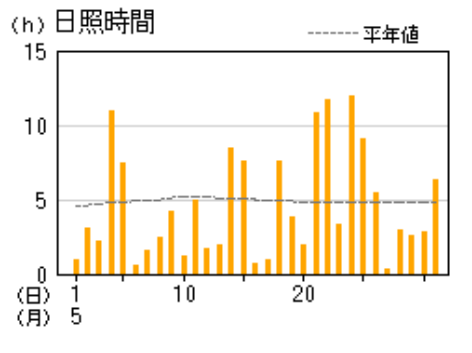
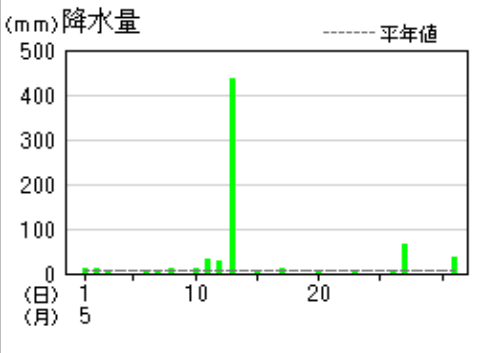
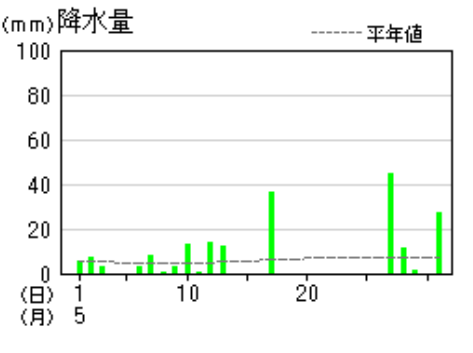
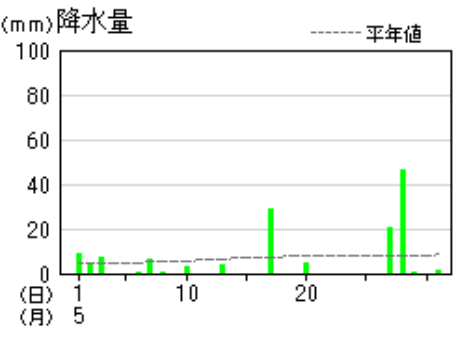
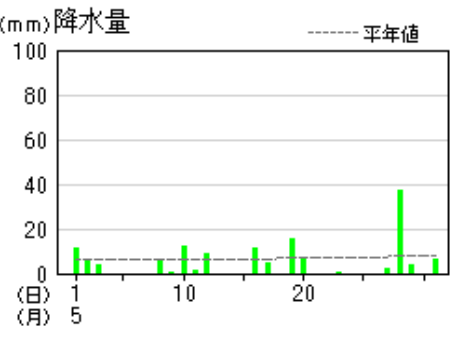
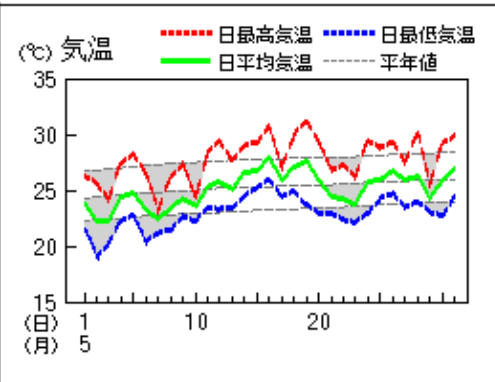
石垣島



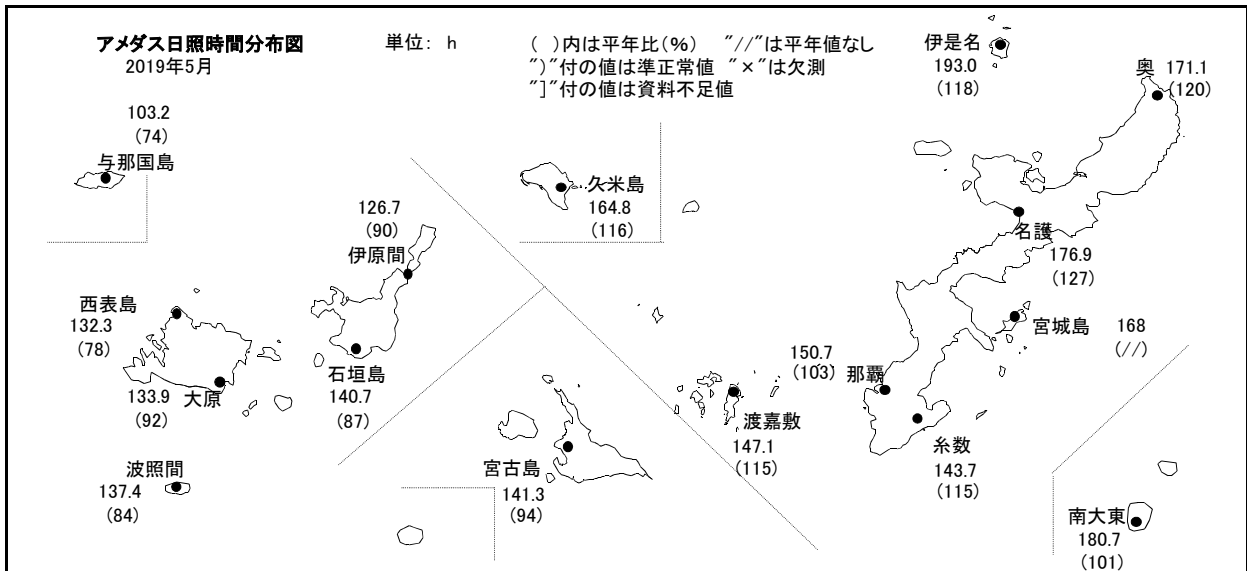
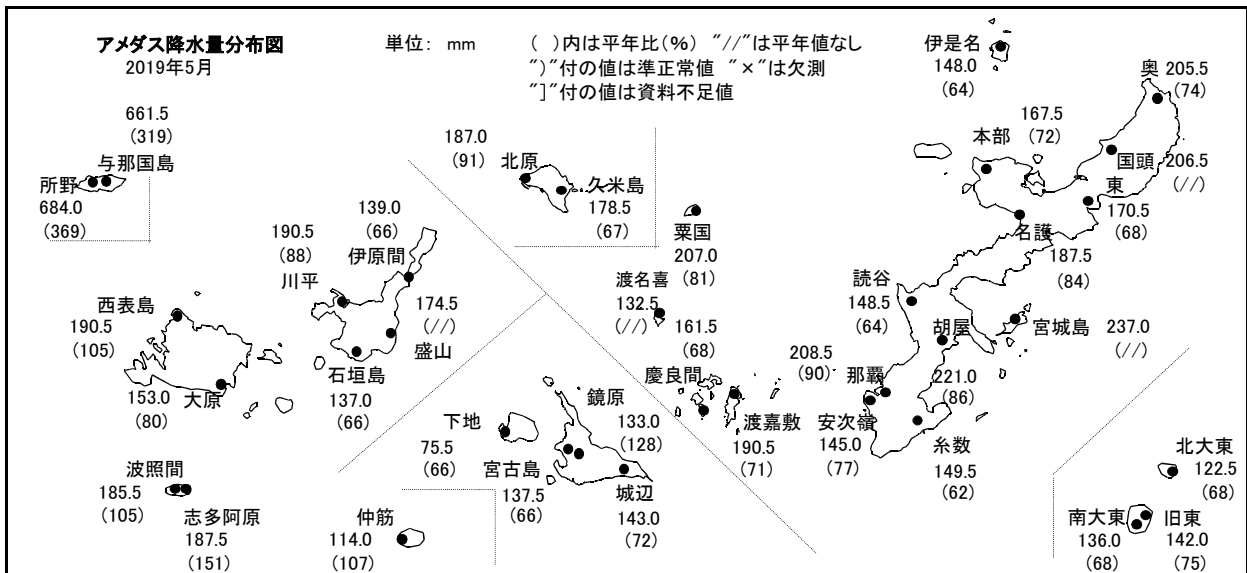
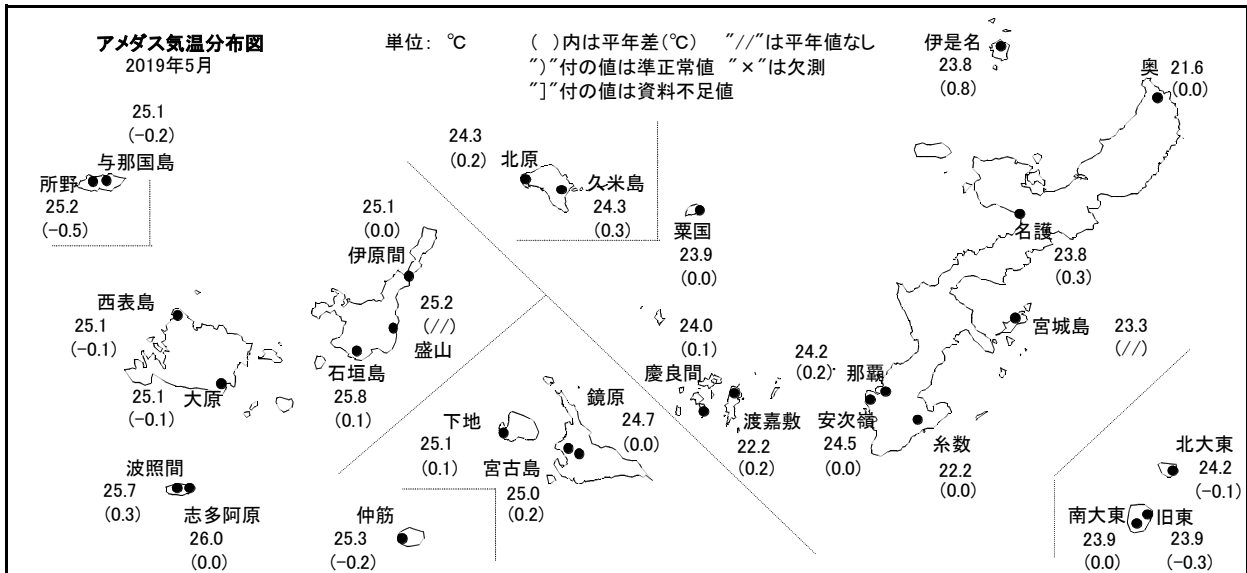
西表島



与那国島



アメダス(月平均気温・月降水量・月間日照時間)分布図



・ 統計期間が短いため、平年値が無い地点があります。

極値・順位値更新表（月）

地上気象観測所

2019年5月

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値（観測日・月）	
与那国島	日最大1時間降水量（mm）	98.5	2019年5月13日	1	96.0	1984年5月14日
与那国島	日降水量（mm）	437.5	2019年5月13日	1	228.6	1961年5月26日
与那国島	月降水量の多い方から（mm）	661.5	2019年5月	1	617.0	1998年5月
与那国島	月最大24時間降水量（mm）	459.5	2019年5月13日	1	221.5	1961年5月27日

注1：日の統計値は1位更新、月の統計値は3位更新まで記載しています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

アメダス観測所

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値（観測日・月）	
所野	日降水量（mm）	441.5	2019年5月13日	1	171.0	2011年5月28日
所野	日最大1時間降水量（mm）	109.5	2019年5月13日	1	71.5	2009年5月17日
慶良間	日最低気温の低い方から（℃）	16.0	2019年5月3日	1	16.4*	2018年5月3日
波照間	日最低気温の低い方から（℃）	16.7	2019年5月3日	1	17.3*	2013年5月1日
志多阿原	日最低気温の低い方から（℃）	17.5	2019年5月3日	1	17.6	2013年5月1日
所野	月降水量の多い方から（mm）	684.0	2019年5月	1	431	2006年5月

注1：日及び月の統計値の1位更新を記載していますが、統計期間10年未満の地点は除いています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3：*印は下位と同値（タイ記録）を意味します。

生物季節観測表

2019年5月

観測場所	種別（代替種目）	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現 平年差	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日			
（1）植物								
南大東島	テッポウユリ	開花	5月13日	4月26日	5月2日	+17	4月4日	5月17日
那覇	サルスベリ	開花	5月27日	6月20日	5月31日	-24	5月31日	7月19日
（2）動物								
那覇	クサゼミ（イワサキクサゼミ）	初鳴	5月5日	4月27日	4月24日	+8	4月15日	5月27日
宮古島	クマゼミ	初鳴	5月21日	5月26日	5月26日	-5	4月25日	6月19日
那覇	アブラゼミ（リュウキュウアブラゼミ）	初鳴	5月25日	6月8日	6月6日	-14	5月23日	6月28日
那覇	ニイニイゼミ（クロイワニイニイ）	初鳴	5月27日	6月3日	6月18日	-7	5月2日	6月25日

※那覇のサルスベリ開花は最早日を-4日更新しました。

注：平年差の“-”は発現が平年に比べて早く、“+”は発現が平年に比べて遅いことを示します。

春の天候

2019年3月～5月

天候経過

低気圧や前線などの影響で曇りや雨の日が多かったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。

平均気温は、全ての地点（気象官署及び特別地域気象観測所）で平年を上回り、地域平均平年差は+0.7℃とかなり高かった。降水量は、宮古島、石垣島、西表島、与那国島で平年を上回り、地域平均平年比は124%と多かった。日照時間の地域平均平年比は102%と平年並だった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

【2019年3月～5月】

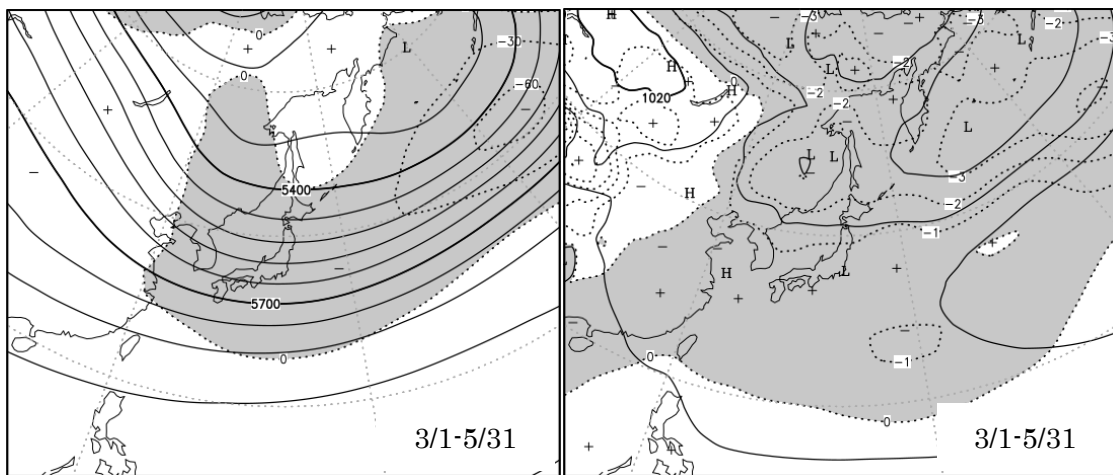
	気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	22.1	+0.6	+	516.0	92	0	397.0	105	+
名護	21.7	+0.7	+	433.0	79	-	415.1	114	+
久米島	22.1	+0.7	+	550.0	83	-	397.0	109	+
南大東島	22.1	+0.5	+	316.5	76	-	481.9	100	0
宮古島	23.2	+0.8	++	567.0	112	+	388.5	101	0
石垣島	24.2	+0.9	++	697.5	141	+	396.4	99	0
西表島	23.6	+1.0	++	563.0	111	0	373.8	96	0
与那国島	23.6	+0.7	++	1025.0	192	++	312.6	97	0
沖縄地方		+0.7	++		124	+		102	0

- (注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。
 ++: かなり高い(多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、
 -: 低い(少ない)、--: かなり低い(少ない)
2. 「降水量」欄の—は無降水を示す。
3. 沖縄地方の平年差(比)とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点の平年差(比)の平均値を示す。
4. “)”付きの値は準完全値(欠測を含むが許容する資料数を満たす)を意味する。
5. “)”付きの値は資料不足値(欠測を含み許容する資料数を満たさない)を意味する。
6. “X”は欠測を意味する。
7. 表中のデータは気象官署(气象台、特別地域気象観測所)における値である。

春の大気の流れ

2019年3月～5月

500hPa面の平均高度（左図）は、日本付近は平年より低い領域が広がった。
平均海面気圧（右図）は、日本付近は平年より低く、フィリピンの東は相対的に高かった。沖縄付近は期間を通じて南からの暖かく湿った空気の影響を受けやすかったため、沖縄地方の平均気温はかなり高かった。



左図 日本付近の 500hPa 面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が 60m、
平年差（破線）が 30m である。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。

右図 日本付近の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が 4hPa、
平年差（破線）が 1hPa である。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

沖縄地方の春（3月～5月）の平均気温と降水量の経年変化について

沖縄地方の2019年春（2019年3月～2019年5月）の平均気温の地域平均平年差は0.77℃であった。1897年の統計開始以降の長期変化傾向（赤色の実線）は、100年間当たり1.21℃の割合で上昇している（図1）。

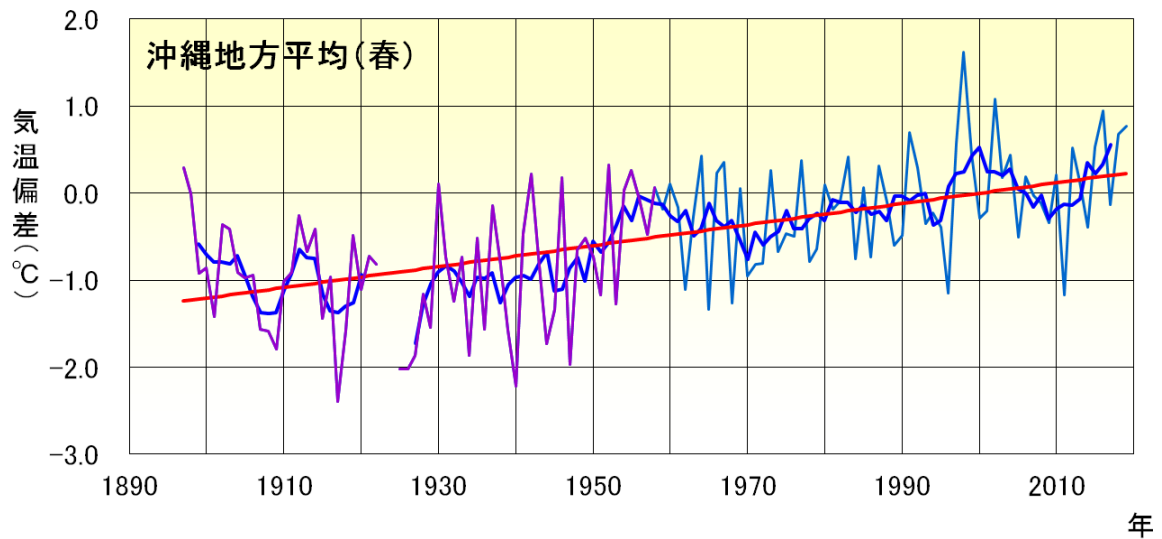


図1 沖縄地方の春（3月～5月）の平均気温の地域平均平年差の経年変化

[1897～2019年の123年間]

横軸は西暦〔年〕、縦軸は沖縄地方の平均気温の地域平均平年差〔℃〕を示す。

水色の折れ線グラフは5地点のデータが揃っている期間、紫色の折れ線グラフは5地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の5年移動平均値、赤色の実線は各年の統計値の長期変化傾向。

那覇の1927年4月以前は、移転の影響を補正したデータを用いている。

1923年、1924年は那覇観測値欠測。2018年は与那国島観測値欠測。

沖縄地方の2019年春(2019年3月～2019年5月)の降水量の地域平均平年差は+130.4mmであった。長期変化傾向は、平均気温とは異なり統計的に有意な明確な特徴は見られない(図2)。

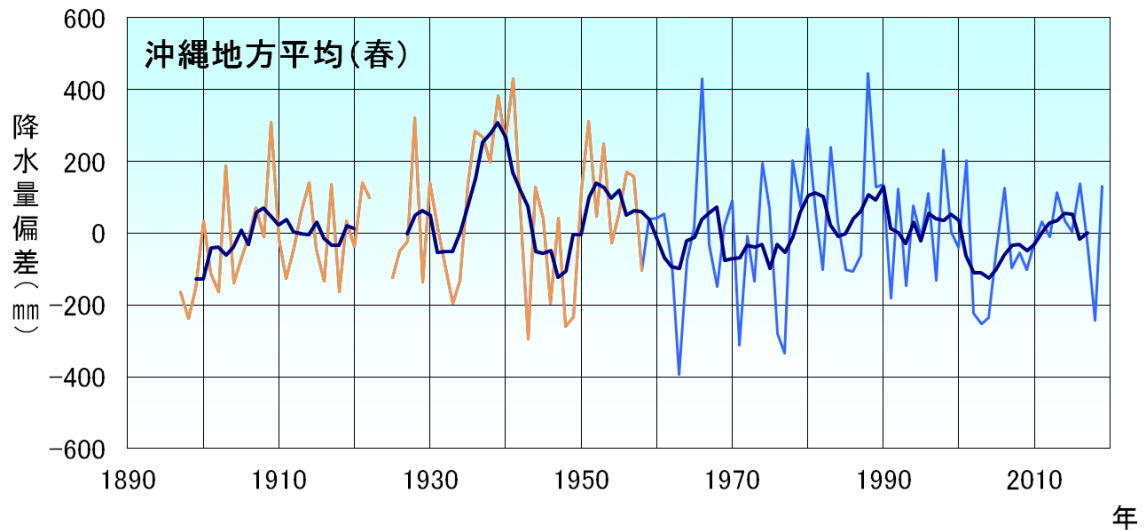


図2 沖縄地方の春(3月～5月)の降水量の地域平均平年差の経年変化
[1897年～2019年の123年間]

横軸は西暦[年]、縦軸は沖縄地方の降水量の地域平均平年差[mm]を示す。
水色の折れ線グラフは5地点のデータが揃っている期間、橙色の折れ線グラフは5地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の5年移動平均値。
1923年、1924年は那覇観測値欠測。2018年は与那国島観測値欠測。

【注】

この資料においては、沖縄地方の平均気温と降水量の地域平均平年差は、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点より算出している。また、上記5地点のうち2地点以上で観測値が存在する期間について算出しているため、統計開始は1897年からとなる。沖縄地方の平均気温の地域平均平年差は、長期的なトレンドの評価のため、小数第2位まで求めている。